

公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

第1 法人の概要

1 代表者

理事長 長尾真

2 所在地

京都市左京区下鴨半木町1番地の26

3 電話番号

075-711-2244

4 ホームページアドレス

<https://www.kyoto-ongeibun.jp/>

5 設立年月日

平成5年3月31日

6 基本財産

103,000千円（うち本市出えん額 55,000千円，出えん率 53.4%）

7 事業目的

京都市世界文化自由都市宣言の理念に基づき、音楽、演劇、舞踊その他の芸術及び芸能を振興し、国内外へ発信することにより、京都が優れた文化を創造し世界文化交流の中心であり続けることに寄与するとともに、市民が生きがいのある文化的な生活を送ることができる社会づくりに貢献すること。

8 業務内容

- (1) 芸術及び芸能の振興並びに伝統芸能の継承及び発展に資する事業
- (2) 京都の文化芸術の国内外への発信と交流の促進に資する事業
- (3) 京都市交響楽団による芸術の振興及び発信に資する事業
- (4) 文化芸術を通して地域社会の活性化や健全な発展に寄与する事業
- (5) 文化芸術の振興拠点として、創造的な活動が不断に行われるための施設の管理運営
- (6) その他法人の目的を達成するために必要な事業

9 所管部局

文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課(TEL075-366-0033)

10 役員名等

(1) 理事長

長尾真

(2) 専務理事

森川佳昭

(3) 理事

青山恒，尾池和夫，榊田隆之，砂原悟，染川里美，谷口享，中山幾美子，尾崎学（文化市民局文化芸術都市推進室長）

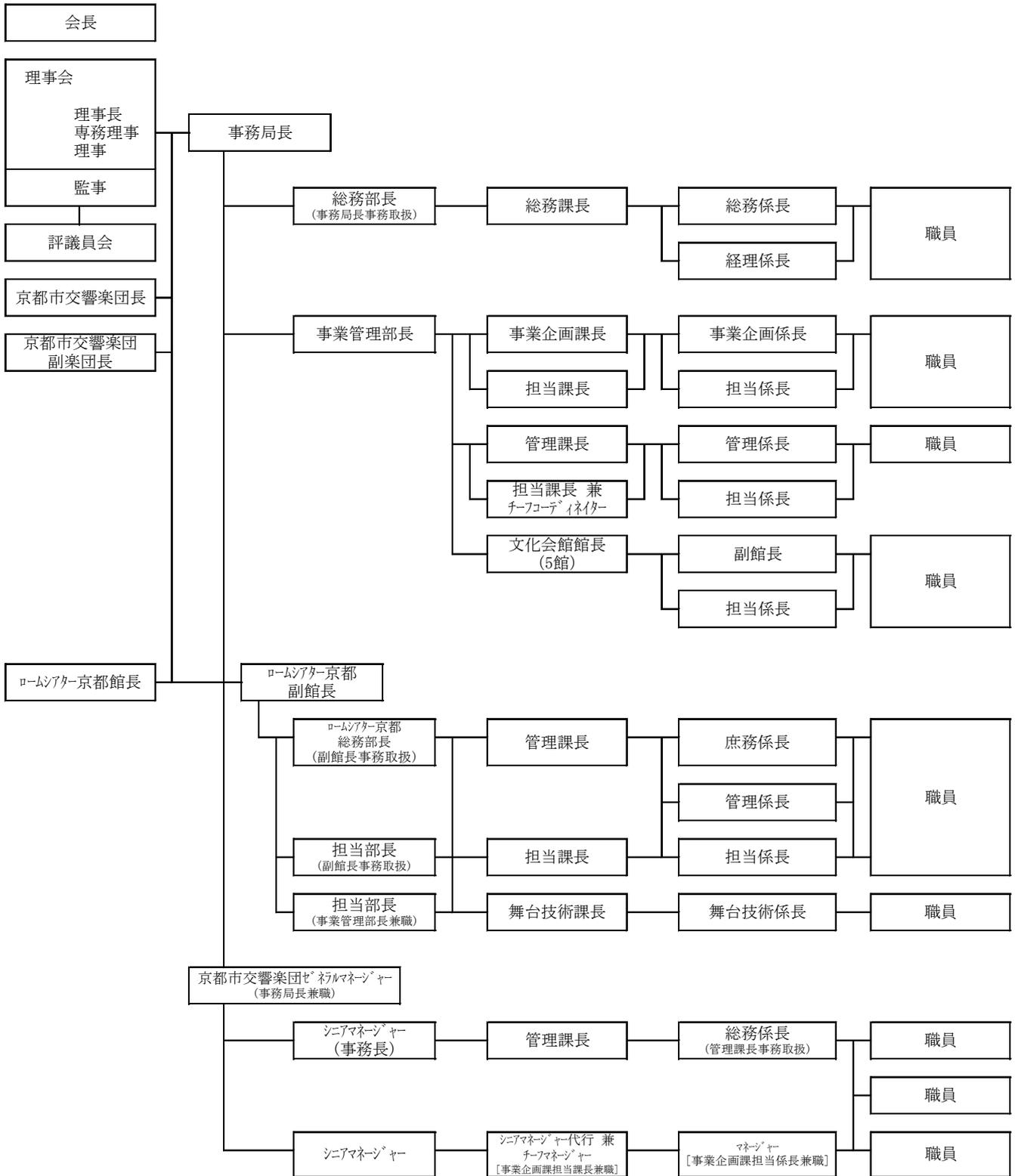
(4) 監事

中路健一，並川哲男（文化市民局くらし安全推進部長）

11 職員数

184人（うち本市派遣職員 90人）

12 組織機構



第2 経営状況

1 平成30年度決算

(1) 公益目的事業

ア 京都コンサートホール

(ア) 自主・共催事業 (46事業 50公演 4講座)

- a 京都市交響楽団の更なる飛躍を促進
- b 質の高い音楽芸術の鑑賞機会を提供
- c 日本有数のパイプオルガンの活用
- d ジュニアオーケストラの運営／大学生を中心とした実演家の育成支援
- e 子どもや青少年の創造性を育む事業
- f 地域の活性化と市民参加型演奏会の開催
- g 賑わい事業の開催
- h 音楽芸術の人材育成のための支援制度

(イ) 受託事業

- a 指定管理業務
- b お客様へのサービス向上に向けた取組
- c 広報・宣伝, チケット販売営業及び外部資金獲得等に関する業務
- d 各種会員制度等の運営

イ 地域文化会館 (東部文化会館, 呉竹文化センター, 西文化会館ウエスティ, 北文化会館, 右京ふれあい文化会館)

(ア) 自主事業 (50事業 74公演 20講座)

- a 地域文化芸術活動活性化協議会の開催
- b 地域文化会館の重点的な取組
 - (a) 文化芸術活性化パートナーシップ事業の実施
 - (b) 市民が幅広い文化芸術に親しむ事業
 - (c) 地域連携を実現する参加型事業
 - (d) 会館プロデュースによる参加促進型事業
 - (e) アウトリーチ事業
 - (f) 多彩な文化芸術活動を支援する事業
 - (g) 京都市交響楽団との連携事業
 - (h) ロームシアター京都との連携事業

(イ) 受託事業

- a 指定管理業務
- b お客様へのサービス向上に向けた取組
- c 利用促進向上の取組

ウ ロームシアター京都

(ア) 自主・共催事業 (31事業 95公演)

- a 主催・共催関連
- b 賑わいスペース事業
- c ミュージックサロン事業

(イ) 受託事業

- a 指定管理業務
- b お客様へのサービス向上に向けた取組
- c 広報・宣伝, チケット販売営業及び外部資金獲得等に関する業務
- d 各種会員制度の運営

エ 京都市交響楽団

(ア) 自主・共催事業 (28事業 52公演)

- a 定期演奏会
- b 特別演奏会
- c 市外公演
- d オーケストラ・ディスカバリー ～こどものためのオーケストラ入門～
- e みんなのコンサート
- f 京響プレミアム
- g 京都発見！クラシック
- h 共催事業
- i その他演奏会等
 - (a) 楽器講習会等
 - (b) 練習風景公開
 - (c) 京響コーラス
 - (d) 京都市ジュニアオーケストラ，若手音楽家との連携
- (イ) 受託事業
- オ その他取組
 - (ア) 事業運営の透明化，適正化の推進
 - (イ) 環境への配慮
 - (ウ) 情報の収集
- カ 組織運営のための取組
 - (ア) 人材育成・職員研修
 - (イ) 新人事給与制度の更なる強化
 - (ウ) 組織・職員体制
 - (エ) 庶務報告
- (2) 収益事業
 - ア 公益目的外の施設提供事業
 - (ア) 駐車場経営
 - (イ) オリジナルグッズ販売等
 - (ウ) プレイガイドの運営
 - (エ) 自動販売機の管理運営

(3) 財務諸表

貸借対照表
平成31年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	310,014	474,227	△164,213
未収金	291,004	273,264	17,740
貯蔵品	8,887	6,582	2,305
立替金	9,677	1,808	7,869
仮払金	30	25	5
前払金	49	77	△28
流動資産合計	[619,660]	[755,981]	[△136,321]
2. 固定資産			
(基本財産)			
投資有価証券	0	83,000	△83,000
定期預金	20,000	20,000	0
普通預金	83,000	0	83,000
基本財産合計	(103,000)	(103,000)	(0)
(特定資産)			
記念事業引当資産	74,920	74,920	0
管理運営引当資産	349,000	352,000	△3,000
退職給付引当資産	185,340	177,079	8,261
特定費用準備資金	152,860	152,380	480
特定資産取得・改良資金	2,500	20,000	△17,500
特定資産合計	(764,620)	(776,379)	(△11,759)
(その他固定資産)			
什器備品	28,433	11,624	16,810
電話加入権	314	314	0
その他固定資産合計	(28,748)	(11,938)	(16,810)
固定資産合計	[896,367]	[891,317]	[5,050]
資産合計	1,516,027	1,647,298	△131,271
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	264,021	385,170	△121,149
未払法人税等	320	320	0
前受金	232,350	248,944	△16,594
賞与引当金	31,837	32,873	△1,036
預り金	72,178	72,976	△797
仮受金	75	919	△845
流動負債合計	[600,781]	[741,203]	[△140,421]
2. 固定負債			
退職給付引当金	185,340	177,079	8,261
固定負債合計	[185,340]	[177,079]	[8,261]
負債合計	786,121	918,282	△132,161
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
京都市出えん金	55,000	55,000	0
指定正味財産合計	[55,000]	[55,000]	[0]
(うち基本財産への充当額)	(55,000)	(55,000)	(0)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	[674,906]	[674,017]	[890]
(うち基本財産への充当額)	(48,000)	(48,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(579,280)	(599,300)	(△20,020)
正味財産合計	729,906	729,017	890
負債及び正味財産合計	1,516,027	1,647,298	△131,271

正味財産増減計算書

平成30年4月1日～平成31年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,240	1,240	0
特定資産運用益	176	235	△59
事業収益	2,137,233	2,130,904	6,329
受取補助金等	702,293	692,041	10,252
受取寄付金	7,403	7,400	3
雑収益	10,255	16,100	△5,845
経常収益計	2,858,600	2,847,919	10,681
(2) 経常費用			
事業費	2,835,567	2,782,727	52,840
管理費	21,823	23,210	△1,387
経常費用計	2,857,390	2,805,937	51,453
当期経常増減額	1,210	41,982	△40,772
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
法人税、住民税及び事業税	320	320	0
当期一般正味財産増減額	890	41,662	△40,772
一般正味財産期首残高	674,017	632,355	41,662
一般正味財産期末残高	674,906	674,017	890
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	55,000	55,000	0
指定正味財産期末残高	55,000	55,000	0
III. 正味財産期末残高	729,906	729,017	890

2 令和元年度事業計画

(1) 公益目的事業

ア 京都コンサートホール

(ア) 主催・共催事業 (36 事業 41 公演 10 講座)

- a 京都市交響楽団の更なる飛躍を促進
- b 質の高い音楽芸術の鑑賞機会を提供
- c 日本有数のパイプオルガンの活用

- d ジュニアオーケストラの運営／大学生を中心とした実演家の育成支援
- e 子どもや青少年の創造性を育む事業
- f 2020年度事業の準備
- g 音楽芸術活動の支援制度
- (イ) 受託事業
- (ウ) お客様のサービス向上に向けた取組
- (エ) 広報・宣伝，チケット販売営業及び外部資金獲得等に関する業務
- (オ) 各種会員制度等の運営
- イ 地域文化会館（東部文化会館，呉竹文化センター，西文化会館ウエスティ，北文化会館，右京ふれあい文化会館）
 - (ア) 主催事業（57事業63公演5講座）
 - a 地域文化芸術活動活性化協議会の開催
 - b 地域文化会館の重点的な取組
 - (a) 文化芸術活性化パートナーシップ事業
 - (b) 地域における文化芸術普及事業
 - (c) 地域の文化芸術活動を担う人材育成事業
 - (d) 住民の文化芸術活動への支援型事業
 - (e) 施設間の交流事業
 - (イ) 受託事業
 - a 指定管理者業務
 - b 施設管理の目標（利用料金収入額，日数利用率）の達成
 - c お客様のサービス向上に向けた取組
 - d 集客のための取組
- ウ ロームシアター京都
 - (ア) 主催・共催事業
 - a 主催・共催事業の実施（33事業58公演2講座）
 - b 賑わいスペース事業
 - c ミュージックサロン事業
 - (イ) 受託事業
 - a 指定管理業務
 - b 施設管理の目標（利用料金収入額，入場者数，日数利用率）の達成
 - c お客様のサービス向上に向けた取組
 - d 広報・宣伝，チケット販売営業及び外部資金獲得等に関する業務
 - e 各種会員制度の運営
- エ 京都市交響楽団
 - (ア) 主催・共催事業（29事業55公演）
 - a 定期演奏会
 - b 特別演奏会
 - c 特別演奏会（市外公演）
 - d オーケストラ・ディスカバリー
 - e みんなのコンサート
 - f 京響プレミアム
 - g 共催事業
 - h その他事業
 - (イ) 受託事業
- オ その他
 - (ア) 組織人員体制・配置等の最適化

- (イ) 働き方改革等への対応
 - (ウ) 人材育成・職員研修
 - (エ) 環境への配慮
 - (オ) 京都市交響楽団楽団員の財団職員化に向けた取組
- (2) 収益事業
- ア 公益目的外の施設提供事業
 - (ア) 駐車場経営
 - (イ) オリジナルグッズ等販売
 - (ウ) プレイガイドの運営
- (3) 予算

正味財産増減予算書

平成31年4月1日～令和2年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	20	1,300	△1,280
特定資産運用益	200	200	0
事業収益	2,176,076	2,177,538	△1,462
受取補助金等	766,530	740,252	26,278
受取寄付金	7,020	7,020	0
雑収益	10,649	10,886	△237
経常収益計	2,960,495	2,937,196	23,299
(2) 経常費用			
事業費	2,983,861	2,926,296	57,565
管理費	25,456	26,997	△1,541
経常費用計	3,009,317	2,953,293	56,024
当期経常増減額	△48,822	△16,097	△32,725
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△48,822	△16,097	△32,725
一般正味財産期首残高	674,906	616,258	58,648
一般正味財産期末残高	626,084	600,161	25,923
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	55,000	55,000	0
指定正味財産期末残高	55,000	55,000	0
III. 正味財産期末残高	681,084	655,161	25,923

(参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H28 (決算)	H29 (決算)	H30 (決算)	R1 (予算)
正味財産増減計算書	経常収益	2,953,381	2,847,919	2,858,600	2,960,495
	当期経常増減額	△7,449	41,982	1,210	△48,822
	当期正味財産増減額	△7,769	41,662	890	△48,822
貸借対照表	総資産	1,451,591	1,647,298	1,516,027	
	総負債	764,237	918,282	786,121	
	正味財産	687,355	729,017	729,906	

(参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H28 (決算)	H29 (決算)	H30 (決算)	R1 (予算)
委託料	京都コンサートホール管理運営 (指定管理)	181,000 (※)	181,000 (※)	181,000 (※)	172,079 (※)
	京都会館管理運営 (指定管理)	418,086 (※)	406,000 (※)	406,000 (※)	372,921 (※)
	文化会館管理運営 (指定管理)	256,300 (※)	256,300 (※)	256,300 (※)	243,231 (※)
	自主, 共催事業	6,540	6,540	6,540	
	事業委託	4,937	5,919	6,357	
補助金	事業補助	711,572	692,041	702,293	740,252

(※) 利用料金制

第3 経営評価結果

1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none">当期正味財産増減額を若干のプラスにしており、予算どおりの安定した運営ができていますと評価できる。
事業面	<ul style="list-style-type: none">文化会館においては、京都コンサートホールと連携した事業や各会館によるプロデュース事業など、地域の特性を生かした事業に取り組み、好評を得ている。コンサートホールにおいては、当施設ならではの事業に注力し、事業数やホールの利用料金収入も順調に伸びている。ロームシアター京都においては、リニューアルオープン直後と比較すると来場数等は落ち着いてきているが、ホールの利用率は高い水準を維持できている。

2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none">平成 28 年度まではロームシアター京都のオープニングイベント等による経費増加により、3 期連続で当期正味財産増額が赤字であったが、平成 29 年度以降は黒字を継続している。引き続き、利用料金収入の増収やサポーター・パートナー収入の拡大、助成金の獲得など、一層の収入確保に取り組み、本市に依存しない収益基盤を確立していくことが重要である。
事業面	<ul style="list-style-type: none">今後とも財団の設立目的に沿って、地域の方々とも連携しながら、京都の文化の振興に寄与する魅力的な事業展開を行ってほしい。